



五小だより

学校教育目標
ともに学びあい、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
～互いに認め合い・つながりあう～

五位堂小学校創立150周年 スローガン
未来へ つながる ひろがる 五小のWA!
～感謝を込めて150年～

2023(令和5年度)年 6月20日
第3号
香芝市立五位堂小学校 校長室発行

開校150年ホームページはこちらから



香芝市陸上記録会に向けての練習



6月5日(月)に、6年生が香芝市陸上記録会への参加に向けて、練習を行いました。たった2時間の練習でしたが、どの児童も真剣な眼差しで練習に取り組んでいました。コロナ禍になってから中止されて、去年は校内での記録会、そして今年は3年ぶりに市内の6年生が下田小学校の運動場に集まり開催されることもあり、子どもたちも張り切っていました。が、、、ちょうど記録会が始まる時間帯から、天候が悪化するとの予報で、残念ながら中止することになりました。

そこで、昨年と同じ形になりましたが6月16日(金)の午後より、五位堂小学校の運動場で記録会を行うことになりました。子どもたちは、お互いの頑張りを称え合いながらも、カー杯「走り、跳ぶ」ことができた様子でした。

陸上記録会の様子

当日は、五位堂小学校教職員が誇る「トップアスリート」の3名が、子どもたちの前で「100メートル走・200メートル走・走り幅跳び」の試技を行ってくれました。生で見ることのなかなかできない「本物」を目の当たりにして、子どもたちからは感嘆の声と大きな拍手が沸き起こりました。また、運動場を貸し切り、今まで一緒に過ごしてきた仲間と思いきり力を出し合う姿は、とても晴れやかで、競い合うことの楽しさと小学校生活の思い出の1ページが作れました。



100メートルを走ってくれたのは、朝日さん。なんと本校の卒業生です。今はインターシップで子どもたちの支援をしています。大学でもサッカーをしているということで、走りも軽やかでした。



女子を代表して200メートルを走ってくれた楠本先生。学生時代は長距離種目をやっていたそうで、今でもフルマラソンに出場して完走しているトップアスリートです。



走り幅跳びを見せてくれたのは、岩下先生。大学時代は7メートル近い距離を跳んでいたとか。今回は助走が短かったので6メートル手前のジャンプでしたが、子どもたちの目線以上まで跳躍する姿は圧巻でした。